

台湾・楊 秋興大臣講演会報告

◆ 「台湾の行政経営における土木技術者の役割」

2013年6月10日（月）に土木学会講堂において国際センターの主催により、楊 秋興氏（台湾・行政院政務委員＝無任所大臣、前高雄県知事）の講演会「台湾の行政経営における土木技術者の役割」を開催しました。国際センター台湾担当の大内氏（高知工科大学准教授）が司会を務め、中国語での講演の逐次通訳を柯 武徳氏（土木学会台湾分会幹事長、正修科技大学助教授）が担当しました。参加者は80名でした。

まず小野武彦土木学会長（当時、現・土木学会顧問）より挨拶がありました。つづいて楊氏による講演が約1時間行われました。楊氏の講演では行政経営を産業、観光、環境、災害復興の面から高雄県知事の経験を元にした内容について紹介がありました。狭義の土木工事に留まらない、土木技術者の役割について参加者一同認識を新たにしました。講演後には講演時間を上回る約70分間の活発な質疑が行われました。台湾の洪水被害、台湾における原子力発電の今後、台湾の年金制度改革、新幹線開通後の台湾国鉄（在来線）の経営状況、農業振興策、台湾の若者の土木観や海外工事への注目度など、狭義の土木に留まらない台湾の行政全般に対する質問から、台湾に対する関心の高さを窺い知ることができました。また、台湾の行政に関するあらゆる質問に対して楊大臣の的確な回答から、土木技術者としての能力の高さを垣間見る事ができました。一方、日本では台湾に関する報道が極めて少ない事も認識できました。

事前のPRが十分ではなかったため、想定していたよりも少ない参加者となりました。国際センターは会員の海外への関心を高めることも活動目的の一つとしていることから、今後は多くの参加があるよう注力していきます。



(右から)小野会長、楊大臣、柯台湾分会幹事長



講演会の様子